



あびらで安心子育て

# abily

abira × family

今回のabilyはファイナンシャルプランナー星洋子氏による第6回目の講座  
「生命保険と医療保険－加入のポイント」についてです。

問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎@2751

万が一のための備えとして社会保障があります。

健康保険制度では、かかる医療費の一部負担や、高額療養費制度、会社員などは病気やけがで働けず給料が出ない時などには傷病手当金が支給されます。年金制度では、病気やけがなどで生活や仕事が制限される場合、障害年金があります。社会保障では不足する分を預貯金などで備え、民間会社の生命保険や医療保険を上手に活用しましょう。

### 【保険加入の優先順位は家族構成と働き方で異なる】

一番お金が必要な「万が一」は世帯主の死亡です。一方で独身世帯は、死亡しても生活費に困る家族はおりません。親族の負担にならないように葬儀費用の備えくらいでしょう。健康保険には傷病手当金がありますが、国民健康保険には傷病手当金がありません。また年金には遺族年金があり、「遺族基礎年金」「遺族厚生年金」の両方、もしくはいずれかです。

### 【死亡に備える保険】

主に『終身保険』『定期保険』『収入保障保険』の3つのタイプがあります。

### 【病気やけがに備える保険】

入院により収入がない場合に備えるのが『医療保険』『がん保険』です。



### 【必要保障額の考え方】

生命保険に加入するには、まず死亡保障がいつ、いくら必要なのか検討します。一般的に一番お金のかかるのが子どもの教育費、次に住宅費。医療保険は、一般的には入院しないと給付金がありません。病気によっては長期入院を余儀なくされる場合でも、高額療養費制度により自己負担には限度額があり、入院時の食事代や先進医療の技術料などは自己負担です。また自営業者は傷病手当金がないので入院時の所得減少リスクがあります。

### 【生命保険と医療保険－加入のポイントのまとめ】

社会保障や預貯金で不足する分を民間の生命保険で備えます。万が一の時に「いつ、いくら」必要なのかを検討しましょう。必要保障額は時の経過や家族構成の変化などで変わります。節目で生命保険に加入した後も見直しをすることで、適正な必要保障額を確保できます。医療保険は契約者がどこを備えたいのか考えるとよいでしょう。契約する前に保険に加入する目的をしっかりと決めて、どの保険が一番必要なのか優先順位をつけましょう。保険の加入と同時に、少額からでも貯蓄を始めましょう。貯蓄は何にでも使える万能の保険です。

詳しくは、町ホームページ（右記QRコードからアクセス）でご確認ください。



～子育て世代向けの情報を発信～

## LINE@

～LINEアプリ アクセス方法～

- ・ID検索 から「@abira」で検索
- ・下記「QRコード」から読み取る



～子ども成長記録を～

## 成長ログ

～成長ログ 利用方法～

- ・下記「QRコード」から読み取る



～多岐にわたる情報を発信～

## 安平町ホームページ

- ・子育て世代に向けた「安平で安心子育て」
- ・子育て支援センターの行事予定やリアルタイムな情報を随時更新

